제704호 1911. 6. 15.

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十一年紀元二千五百七十一年… 本紙 一枚金二錢 一ヶ月前金三十五錢 三ヶ月前金九十錢 六ヶ月前金一圓八十錢 郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料 五號活字十七字詰一行金二十五錢 特別廣告 …
發行兼編輯人 高木久一郎
印刷人 松久為一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社
電話… 仁川支局 東京支局 東京市京橋區南金六町…

東拓會社評（三）

代議士大内暢三氏談

◎今日の移民規則に據り、如何に東拓が甲種移民を容るゝに適當なる地積なりと認定をした所で、全体農業者なるものは却々勝手なもので、各々能不能適不適がある、海岸地の農家は常に副業を海に求め、山地の農家は毎に開墾を山に求めてをる、東拓の與へる所の地積が悉くしも移民者に適する者とも限られぬ、随して適不適を顧みずして一種の强勢に依て農作に從事するとしても、自然に來る生活難は移民其者は云ふに及ばず、會社も亦之を傍觀することは出來まい。又縱令は最初は適するが如く見ゆても、農作上實驗の結果中途にして作物又は耕作法を變更するの必要なきを保せず、是等は總て移住者の自由に任せるべき事でなくては眞正なる活動を期待することは不可能である。

◎然らば、予は返す〳〵も、東拓が全然營利本位によつて營業するの得策なるを思ふ、然るときは農家も例へば千圓の中三百乃至四百の金を投じてをるから七百乃至六百の東拓よりの借金を踏倒さん爲に自己出資の四百乃至三百を分散するが如き愚を演せざるは見易き道理であらう、如此にして現今の東拓の庁蕃的移民規則と異なる變務移民營舎が現はれるのである。

◎東拓にして、斯變務移民經營法を採用せば、日鮮兩民族は貧富の別ちなく便金を得ることが出來る、貧者は田地を買取するため其價格の一半を東拓會社に金融を需め、又稍々富める者は耕作の傍ら商工業を營まんがために所有せる田畑を東拓に擔保に提供して資金を得るといふ事が出來て、獨り農ならず凡ての方面に產業の發展を見ることとなるのである、之に反して目今の東拓移民奬勵法によるときは、今後一年半を出でざるに必らず思はざる失態の端を生ずることを、予は今より豫言して憚らない。

◎東拓の重役連も此點は夙に心得てをる筈だと考へてはいるが、兎角其内部には非常の情弊が充滿してをると想はれる……マアこゝ暫く見物すべきであらう（完）

●京畿道學校增設

京畿道に於ては來十月より管内各地に公立普通學校十校增設の筈なるが其地方は廣州、陽智、楊平、始興、長湍、金浦、陰竹、振威、漣川、抱川等の十箇所と内定し昨今專ら其準備中なるが又昨年四月以降私立普通學校十八校を新設開校したれば來十月以後に到れば右の增設により三十八府郡四十六校を算する事となるより一地方として公私普通學校の設備なきなからざるを見るべき筈なり而は私立普通學校々長に內地に於ける現職者を何れも採任せしが他日增設の公立普通學校にも同じく內地現職者を以てするの計劃にして右は何れも國庫金によりて設立せしものなり

●咸南私立學校新設

咸鏡南道咸興郡の各面に於ては近來學校を新設し又は私熟等を併合して教育を熾んにするもの益々增加するに至りしを以て同郡川原面長は郡趣旨の勸力を乞ひて各面長の贊成を得面の中央に私立學校を新設する事に確定したる由にて目下向ふ六十日以內に開校の豫定にて目下四百圓を投じて校舍建築の準備中なりと云ふ尙同校の維持基金六千餘圓は面有貴金各里の契、並に私熟を廢合して其附屬財產を合せ不足の分は有志者の醵金に依りて調定する筈なり

●城津の窮民救助

咸北城津郡内に於ては昨年凶作の影響を受け細民は一般に生活困難の情況なるが貧民中百四十八戸六百五十四人は救助の必要を認め郡守等の協議の上其の方法講究中なりと

外事一束

△協定● 土耳古政府は黑山國と合意協定の上兩國境要塞に沿て濠渠開鑿。
△獨逸● 諸新聞アルバニヤ事件に付土國に忠告を可とし干渉の不可を說く。
△警戒● 墺國政府は同國土よりアルバニヤに兵器密輸入防止の爲國境警戒。
△保障● 黑山國政府は土耳古國政府に對し平和を維持するの意志を保障す。
△辭職● 白耳義國政府は教育問題に付議會の一致を得る不能內閣總辭職す。
△言明● 西班牙總首相は摩洛哥に於て西國は毫も侵略の企圖なきを言明す。
△組織● 前記白耳義內閣總辭職後繼續

△● 事務大臣フ氏代て新內閣組織着手中。
△揚言● 西藏の達賴喇嘛は淸國の駐藏大臣の西藏人虐待殘酷を極む旨揚言。
△要求● 淸國政府は蒙國トレオンにて多數淸人被虐殺に付千萬弗償金要求。
△戰况● 西班牙軍隊は摩國の一市を占領し佛軍亦土人軍と戰ひ大損害を受。
△佛國● は西國の摩國一市占領が複雜なる國際關係を惹起す無きを憂慮す。
△營口● 道臺更長齡辭職後任は趙爾豐親戚の袁亦翼に決定同外部に入る筈。
△要請● 淸國沿岸航海外國船員賃銀值上要求態度尤も强硬を極めつゝあり。



召使れ初

黑法師

第七十七回

相生はれ宿下りの隙ひ偸ひて、海老屋德兵衛の家を訪ひぬ、店頭を通行のれ茶一服所望したく、急に渴きを覺えたれば、折柄、迷惑とは存じながらも不躾に邪魔したりとの口上なりき、裏面には深き秘密を包めど、表面には何氣なく粧ひて、簡短に斯挨拶したりき云ひ前は何れにしても出入せるれ屋敷のれ奥に一方の雄と稱せらるゝ澤野呢近の中年寄相生が、圖りなく訪ね來りたるなれば、海老屋にては下にも置かぬ待遇なりき

折柄德兵衛不在に由つて、伜德右衛門側を去らず懇應す

「唐突に參つて雜作かけたの」と相生は滿足氣に「只今頂戴のれ茶、れ服加減と云ひ、香氣と申し、何處に一つ申し分もない、到來に見ゆるのう」

「山城宇治の別儀ござります」

「さうあらう」と只管に感じ入りて「茶は宇治に限るわの」

「御賞美に預り、却て恐縮」に心得まする」

「德兵衛どの不在かの」

「折惡しく他出、是にれ待遇ゝ爲り難ね、什麼とも恐入つたことでござります」

「德兵衛どの不在を見かけ、そなたへ申し置くことがある、ずいと進ませ」

「は」と一膝乘り出して「什麼のれ話でござりまするな」

「他ではない、嶋尾殿部屋子としてれ上りのれ跡どの、奥方れ目に止まらせて、近頃は私と同役、一足飛びに中年寄と御ならせぢや」

「さうやう御沙汰、承はり居ります、これと申すも皆さま御贔負の餘蔭、親共とも申し合ひ、緣に繫がる私共まで、歡びあるでござります」

「そのれ道どのにそなたとの間、可愛らしい約束どもあるとのう」

「いや、滅相もない……滅相もない事仰せござります」と德右衛門は怪てゝ云ひ消し「私共とれ道樣とは、身分に相違でござります」

「只今でこそ相違もあるが、れ上表は海老屋養女といふことに申し上げある、すれば一家も同樣、身分に懸隔ある筈ない」と相生は目を光らせ「秘もやるな、私は仔細わつて存じある」

「什麼とも、れ恥かしいことでござります」

「其實であらうがの、ぬ、其實であらうがの」

「存じとあるから、秘し立て致しませぬ、親共とも約束、御奉公御年首尾よう明けば、その上は私……と」云ひかけて汗を拭ひ「…詳しうれ話もなしかねます」

「すると、將來そなた内儀にならせの方ぢや」

「それも皆親共約束、私一向心得ぬでござります」

「さうもあらう、所でそのれ道どの事ぢやがの」と相生は聲を潤らせ「それあつてた、どうも内儀にしやう心であるか、又はさほど執心でもないを、德兵衛どと云ふに由つあて據なく納得してあるか、其さ存する旨もある、委細打明けてたもるまいか」

「れ詞までござりませぬ」と德右衛門は眞に應じて「詳しい申條ござりまするが、れ道は私命でござります、私れ目樣でござります、れ道どの在しまさねば私胸中正しく暗闇でござります





廣告

成歡紀念碑

牛等今般成歡古戰場に故松崎大尉の紀念碑建設發起致候間江湖諸君の御贊同御助力を得度候寄附金の儀は韓國銀行市原盛宏宛御申込被下度候

六月十四日（發起人イロハ順）

市原盛宏　林市藏
大庭寬一　和田常市
中村再造　山口太兵衛
男爵松永正敏　藤田嗣章
古城菅堂　佐々正之
菊池武一　檜垣直右

第二十三號

公告

本月十八日ヨリ向フ十五日間ヲ期シ臨時戶口調査ヲ執行スルニ付テハ右調査員約卅名ヲ募集ス希望ノ者ハ來十六日正午迄ニ履歷書携帶當所ニ出頭スヘシ

明治四十四年六月十三日

京城居留民團役所

京城居留民團告示

第三號

當民團管內臨時戶口調査ハ來ル本月十八日ヨリ向フ十五日間ヲ期シ左記ノ通リ執行ス

明治四十四年六月十二日

京城居留民團長　古城菅堂

記

一調査スヘキ事項
一居留ノ場所　二本籍地　三族籍
四入京年月日　五勤功爵位　六兵役
七職業　八戶主非戶主ト戶主トノ區別及男女別　九氏名　十生年月日
十一宗教
二調査方法
一實査小票ヲ各戶ヘ配付ス
二配付ヲ受ケタル者ハ前記事項ヲ記入シ更ニ調査員出張ノ際之ヲ交付スヘシ

京城居留民團告諭

第一號

今般當民團管內ノ臨時戶口調査ヲ執行スルハ居留民ノ居狀態ヲ知悉シ民團自治ノ基礎ヲ鞏固ニシ居留民一般ノ幸福ヲ增進スル所以ニ外ナラサルヲ以テ調査員ノ配付セシ實査小票ニハ各自同時ノ疑念ヲ挾ムコトナク前ニ當該事項ヲ記入シ更ニ調査員出張ノ際遲滯ナク之ヲ交付シ以テ調査事務ノ進捗ヲ阻害スルコトナキヲ期セラルヘシ特ニ多數ノ居留民中家族多キトキハ大ナル税金ヲ賦課セラルルカ如ク思惟スルモノアルヤモ計リ難ケレトモ本年度ヨリハ汚物税ヲ全廢シタルヲ以テ全然右等ノ誤解ナカランコトヲ望ム

明治四十四年六月十二日

京城居留民團長　古城菅堂

「名聲銀牌受領」キリンビール

梅毒根治の確効ある新藥六〇六號を左の規定に依り治療を施行す

一、治療せんとする者は先づ病毒の有無輕重を驗診（ワッセルマン反應）し之に依て新藥を注射す
一、新藥注射後更に病毒有無の驗診（ワッセルマン反應）を行ひ根治したるを確認して注射を終る
一、本治療は極めて秘密に行ふを以て希望者は本人若くは書狀を以て當院河野醫師に內報すること

（本町四丁目 電話二四番） 賛化病院

特別の御愛顧を蒙る爲正價よりも特に五分引

上製茶小包直接販賣

自園特製銘茶販賣の主旨

●弊園は從來正價にて親切なれば廣告と現品とは斷じて表裏無之候
●目方及荷造等嚴密に致し迅速責務に專
●品質の優良なるは弊店の及ばざる處也
●弊園は江湖の愛茶家諸賢に遺憾なきしめん事を勤む何卒左記茶銘表に基き御用命乞

御茶銘並定價表

●玉露（百六十匁）
千羽鶴 金七十錢
亀の齡 金六十錢
老松 金五十錢
寒竹 金四十錢
白梅 金三十錢
高砂 金四十錢
●煎茶（百六十匁）
富士 金二十錢
池の尾 金一圓二十錢
大福 金八十錢
堀井園 金七十錢
正喜撰 金六十錢
喜撰 金五十錢
青柳 金四十錢
川柳 金三十錢
●淡茶（十匁）（挽上三割增）
初音 金四十錢
鶯音 金三十錢
●薄茶（百六十匁）（挽上げ二割增）
極詰 金…
●上別儀 金貳圓六十錢
●別儀 金九十錢
●折物（百六十匁）
折鷹 金七十錢
上鷹 金六十錢
鷹の爪 金七十錢
●粉茶（百六十匁）
上粉 金二十錢
玉露粉 金七十錢
煎茶粉 金七十錢
玉花粉 金三十五錢

●右の外何品にても御注文に應じ御進物用に相成候
●茶銘斤數住所氏名等明瞭に記し御差出被下度候
●引換小包に限る●振替貯金口座へ御拂込代金で一斤以上の品は無代價にて御送付可申候
●御注文の過不足は現品にて返金仕候
引く（但四斗斤以上は箱代を申受く）
●送料の節は御負擔の事
○一斤壹圓以上は凡て荷造費無料
▲御買上は特に御相談可致候●御注文の節本紙廣告に依る旨記入乞

山城國綴喜郡宇治村字中（長池郵便局區內）振替大阪七二九九番

御茶調進所 堀井園 堀井憙之輔



目録進呈

洋式帳簿

折紙種の出來合品あり大抵の御註文は直に間に合ます御特別の物は如何樣にも御調製仕候

東京銀座三丁目 伊東屋

電話京橋 …

狩野病院長

狩野謙吾先生著

增補訂正 神經衰弱豫防法

此二冊の書物は神經衰弱症治療の專門大家として有名な狩野先生が各種の神經衰弱症例へば腦神經衰弱症、胃神經衰弱症、生殖器神經衰弱症等の豫防法并に治療法を通俗にしかも詳細に講述せられたものですが病には特に胃され易い教育ある人士か是非とも一讀する必要があるの書物だと思ひます

定價六十錢 郵税六錢（第四版）

神經衰弱自療法

定價六十錢 郵税六錢（第七版）

東京市京橋區新橋 大通 際 二〇〇 新橋堂
東京日本橋本町十下 横町 六一 〇三一〇三 文〇星堂

●山師的職業に非ず●本業又は副業にても月收四十圓以上確實なる國家經濟的衞生事業なり

參圓資本 獨立新事業

●二錢郵券封入照會あれ

大阪市北區曾根崎芝田町 大阪精豐社

外科皮膚病花柳病科

診察時間 自午前八時 至午後二時

京城南大門通一丁目

醫學士 鶴田善重

電話百九十八番

皮膚病梅毒 淋病膀胱病 生殖器機能障碍

診療時間 自午前九時 至午後九時 但日曜祭日ハ午後二時迄

京城郵便局裏 支那領事館前 佐藤皮膚病院

院主 前福岡醫科大學皮膚病梅毒科泌尿生殖器科醫員 佐藤伊藏

電話千百七十三番

東京電報（十四日發）

▲新條約交渉經過　日獨通商航海條約は近日調印の運びに至るべく又日佛新條約は交渉漸く步を進め又日瑞條約は不日調印の運びに至るべし

▲總督府技師任命　臨時總督府電氣水力調査局技師［illegible］一氏は朝鮮總督府技師兼遞信技師高等官五等に任命され［illegible］

▲皇后陛下行啓　皇后陛下には十三日上野美術協會內の［illegible］に行啓あらせられたり

▲重要內閣會議　十三日桂首相以下各大臣は內閣に參集し［illegible］重要事務に就き協議を遂げたり

▲和田總長辭職　日本大博覽會事務總長和田彥次郎氏は本日依願免官

●棉花會社解散　韓國棉花［illegible］は昨十三日創立委員會を開き設立廢止の事に決定したり

▲濟生會協議會　濟生會世話人會は［illegible］

勳二等旭日重光章　通信局長官　池田十三郎
人事局長　國分象太郎
農商工部長官　木內重四郎
李王職次官　小宮三保松
外事局長　小松綠
勳二等瑞寶章　內務部長官　宇佐美勝夫
臨時土地調査局副總裁　俵孫一
勳三等旭日中綬章　憲兵中佐　山形閑
勳三等旭日中綬章　司計局長　鈴木穆
會計局長　兒玉秀雄
警視　永谷隆志
　　　太田清松
勳四等旭日小綬章　參事官　中山成太郎
事務官　中野有光
通信事務官　佐々木三郎
警視　鈴木重民
　　　藤波義貫
　　　松村重治
（勳五等）　同　呼子友一郎
警視　今村鞆
（勳六等）單光旭日章　事務官　武藤文吾
書記官　河內山樂三
事務官　亥角仲藏
書記官　入江海平
警視　國友尙謙
（勳六等）單光旭日章　［illegible］
（勳七等）靑色桐葉章　［illegible］吉野屬、吉田屬［illegible］通譯生、森警部
（勳八等）白色桐葉章　［illegible］
金盃壹組（外波海軍少將）、金盃壹組（大塚大尉）、（藤田大尉）同（村井大尉）銀盃壹個（村田中尉）銀盃壹個（內野警部）同（鈴木警部）同（小牟田警部）同（葛城警部）同（安藤警部）

●論功行賞詳報　朝鮮併合に關する論功行賞は十三日大久保軍司令官以下九十餘名に對する敍勳の發表ありたるが［illegible］號外に掲載せし［illegible］同日總督府に達したる總督府官吏の論功行賞左の如し

政務總監　山縣伊三郎
年金八百四十圓賜ふ
勳一等旭日大綬章　石塚英藏
勳一等瑞寶章　度支部長官　荒井賢太郎
勳一等瑞寶章　司法部長官　倉富勇三郎
警務總長　明石元二郎
［illegible］

雜報

●官有財産の調査　總督府に於ては朝鮮全道に於ける官有財産中森林若くは驛屯土等に關するものは［illegible］有の調査を遂げ［illegible］其筋に於て調査中なるが是等は從來の書類を根據として［illegible］各道知事より府郡に移牒し［illegible］之に基き各地の寄附金額等［illegible］

●物產陳列場新設　農商工部は昨年十月貞洞町に在りし物產陳列場の［illegible］各地に此の種の陳列［illegible］團體其他に對し示す上に於て不便尠からざりしが今回同部にては時勢の要求に鑑み永樂町三丁目なる元特許局跡に朝鮮物產陳列場を新設せむと目下準備中にて本年末までは一般縱覽に供し得べしと云ふ

●朝鮮鑛業の狀況

半島の鑛業

鑛業は朝鮮に於ける重要產物の一たり而して十三道到る處に其產出を見ざるなく隨つて［illegible］界の消長に甚大なる影響を及ぼし各種鑛產物中に重要なる位を占め鑛石炭の如きは年々其輸出總額［illegible］百万圓の巨額を算し［illegible］一月以來の貿易統計に徴せんか［illegible］韓國銀［illegible］地金［illegible］百六十五萬六千九［illegible］知るべし

▲鑛區の現在　而して斯かる巨額の產出を有し殊に貿易上經濟上至大の關係ある鑛區の現在は幾干くかといふに五月末日の調査によれば鑛業鑛一千二百七十八萬九千四百三十六坪砂鑛二億三千六百七十七萬七千五百十坪砂鑛延長二千二百七十七間十五間を有す更に之を鑛區數に見れば鑛業五百六十四區砂鑛百八十一區合計七百四十五區あり

▲經營の狀況　以上七百四十五區の鑛業及砂鑛は既に採掘の權利を與せられ居るもののみなるが其他未許可の鑛區及實査尙ほ到らざる爲め空しく地中に埋沒せられつゝある鑛區に到りては殆んど擧げて數ふべからず唯だ一言無盡藏の語を以て悉くし得べし然るに如上權利取得者中實際に採掘に從事し居るものに到りては僅かに三割五歩の少數にして則ち鑛業に於て百二十五區砂鑛に於て八十七區に過ぎず

▲未着手の理由　則ち七百四十五區の許可鑛區中事實着手し居るものは二百十三區にして殘餘の五百三十三區は未着手に屬す何が爲めに斯く多數の未着手鑛區あるかといふに種々の原因に基くべしと雖も其多くは空權屋の手中に翻弄せられつゝあるものなり彼等は實際に之を經營せんと欲する意志毛頭なく又是ある實力なく唯だ其權利を轉賣して濡手攫粟の巨利を博せんと夢み先願權を利用し先を爭ふて之を收めたるものなるべし斯かる空望の權利取得は半島の鑛業上寧ろ百害ありも一益なきなり

▲而かも出願續々　鑛業の權利を獲得し而かも經營狀況亦如此なるにも拘はらず出願頻々として續來し現に五月中のみの受理件數を見るに百七十七件繰越件數九百九件內處分濟百六十四件未處分中のもの九百二十二件あり又手數料を徴せし數は九十二件にして此手數料額一万二千八百二十二圓を收入せり元來鑛業權の獲得に對しては勢ひ手數料を要し四十三年中農商工部に收入せし總額は十四萬一千二百十六圓の巨額に達しぬ則ち斯かる巨額を投じて權利を爭ふ空權屋商賣も亦繁しといふべし

▲鑛業と政府歲入　鑛業に基く政府の歲入は手數料鑛區税鑛產税の三税にして本年度豫算に計上せし該税額は鑛區税十七萬三千八百圓鑛產税四千圓及雲山金鑛特許年税二萬五千圓稷山金鑛の利益四分の一とす外に以上の手數料收入を加算すれば約四十萬圓を超過すべく蓋し朝鮮總督府の財源としては有力なるものと稱せらる若し夫れ未着手の鑛區全部經營せらるゝ時は啻に現在の產額を數倍するのみならず之に伴ふ政府の收入も亦數倍の增進を見る所以なり

●總督中學校臨觀　寺內總督は修田副官及び視學官內務部長官其他を隨へ十四日午前八時總督府立中學校に臨み數官職員生徒一同を集め訓諭する所あり午前十時同校を退出されたり

●李堈公總督招待　既報の如く李堈公殿下は十四日正午寺內總督を同邸に招き午餐會を催されたるが寺內總督は外波少將藤田院長を隨へ大久保大將は十時副官を隨へて參邸其他樂參謀長明石憲兵隊司令官中山佐小松局長小宮次官閔長官等諸氏も參列したりと

●大阪と朝鮮貿易　六月上旬に於ける大阪の朝鮮貿易額如左

移出品價　三二〇、〇八〇　移入品價　三六、八〇三
合計　五五六、八八三
移出入（出）八五、二七七
移出超過　［illegible］
移出金銀　［illegible］
移入金銀價　一五四、五七七
合計　一五四、五七七
移出入（入）一五四、五七七
超過

●道廳學事諮問會　新紙所報の如く檜垣道長官には十三日午後二時より京城の學事當局者を招集し協議會を開き出席者は民團立小學校長、高等女學校長、普通學校敎監、巡回敎師、府廳學務係、民團學務係等十九名にして道長官は先づ本會開設の趣旨を述べられより各學校、學務の現狀を諮問し次いで將來の施設に關する希望を聽取したるが何れも直接關係者の事とて頗る綿密の點まで答申し辰五時に至りしが後者に就ては兩三日中具體的意見を文書に認めて道長官手許まで提出する事として散會せり聞く所によれば道は不日開催さる道長官會議の諮問其他に對する參考となすべき爲めなりと

●朝鮮漁業と鐵道院　鐵道院は昨年冷藏貨車を新造し試驗的に生魚、果物の輸送を試みたるが其の結果良好なりしより新に多數の新造を計畫せるが中にも西部管理局の如きは差當り生魚果物の出貨多き關係上熱心に之を主張し結局本年度に於て百五十輛を新造すべく幾に四日市工場に於て一部の製造に着手し愈々今回十輛竣成せるより八日を以て直に下關に廻送したるが引續き本月中に二十輛來月中に三十五輛を竣成せしむべき筈にて是に從來の專屬十五輛を加へて六十五車と爲し兎角本年の需要に應ずる筈なるも一面客年の狀態より見ればトロール漁船の本年朝鮮近海に出漁するもの四十餘艘の多きに達すべきより到底是にては滿足なる輸送に應じ切れざるべきも而も一車七噸を積載し得べしとすれば四百五十噸餘の輸送量を得たるものとし假に下關東京間の往復を一週間と見積るも一列車十車內外の輸送を爲すに難からざるべく且つ此の形勢に鑑み同局にても殘餘百輛の新造を急ぎ居れば本年の朝鮮魚類輸送は著るしく面目を改むべしといふ

●通信局電氣會議　通信局にては十四日午前十時より岡本工務課長を始め島田庶務課長天野經務課長、服部計理課長秋山龜井の兩技師等工務課長室に集合の上今回新置された電氣事務に關し打合會を開き今後の處務方法に就き協議したり

▲人さまざま▼（五十二）

石塚英藏君

君は會津藩の出身で大山元帥夫人捨松子と姻戚の間柄である、故に世渡りには殆んど申分ない立派な基を有つて居る譯だ、廿三年帝大法科を出で、登龍雲を起すの勢を以て法制局參事官から朝鮮政府法部顧問臺灣總督府參事官長關東都督府民政長官統監府參與官といふ工合に經來つた、處が往くとして其末路甚だ振はぬの觀あるは實に不思議の奇蹟である、君が勅任になつたのは而立を超ゆる僅かに二か三の年だ、蓋し此位出世の早いものは他に類例なしで寧ろ破格と言つても宜しい、君常に嘆じて曰く餘り早く勅任になつた爲め却つて損をして居ると、惣く者爲めに惻々の感なきを得ない、而して朝鮮併合の本舞臺に於ては終始黑頭巾の損役であつたが、其論功行賞は勳一等旭日大綬章君以て慰むるに足らう。

●關門と朝鮮貿易（下）　門司馬關兩港の本月上旬に於ける朝鮮貿易狀況は左の如し

	下關港	門司港
出	三九三、三七七圓	一四八、〇六四圓
入	一〇三、五三三	四七、〇四三
超	三九一、〇〇四	九九、〇四一
△移出重要品		
精米	三、九二〇	三、二二〇
清酒	三六一	三、八三三
綿糸	三一、〇〇三	一五、七七六
綿布	一〇九、三三三	二、八二六
△移入重要品		
大豆	一三、七七四	一五、六五七

●總督府新任勅任官　總督府參事官秋山雅之介氏及通信局工務課長技師岡本桂次郎氏は勅任官に新任さるべしとは既報の如くなるが愈々本月下旬若くは來月上旬勅任官に陞敍さるべしと確聞す

●京城東部の發達　京城東部地方には昨今內地人の居住する者非常に多く殊に東大門外に住むものの如きは京元線の停車場か早晩東大門附近に設置せらるるならんとの思惑に出づるもの多く東小門附近の者は總督府醫院の入院患者頻繁にして各種の小賣業者增加したる等又は家賃比較的低廉なるより小役人の同方面に居住す等なるが何分鮮人家屋內の混雜籠居するもの多きため十分なる戶口調査を爲すに困難なりと

●福德房と家僧　京城にて鮮人の土地家屋賣買の仲介をなすものは之を家僧と唱へ其集合所を福德房と稱しをれるが其仲介料は總所家屋の賣買に對して當事者双方より一圓づゝを支拂ふことになり又貸屋は月十圓の家賃に對し約二圓を福德房に收めをれり今其筋にて彼等員數を調査せしに福德房の數百七十四家僧即ち仲介業者五百八十六人ありと云ふ

●紀念碑寄附金　東京富豪澁澤男爵及び淺野總一郎兩氏より今回成歡驛に設立せらるる松崎大尉紀念碑に對し金五百圓を寄附せり

●軍人會の準備　十五日午後七時より憲兵司令部に於て京城在鄉軍人會支部及分會組織準備に付き重立者は集會を開き打合せを爲すべき筈

●軍人會と會旗　朝鮮に於ける在鄉軍人會は略組織濟となり京畿道の如きは京城分會のみを除し同會も來十八日發會式舉行の筈なるが元來分會には分會旗を備付けざるべからざる規定あり道は會に於て購入すべき事となり居るに付き京畿道支部に於ては京城分會設立後管內分會の分を取纏め東京に申込むべき由なり因に記す分會旗は軍旗と類似し居り一流十五六圓より五十餘圓までを要すといふ

●仁川築港と祝電　去十一日擧行の仁川築港起工式に際し群山商業會議所元山總谷商業會議所元山民團及元山府尹天野群山府尹橋本木浦府尹原田鎭南浦民長鎭南浦商業會議所楠野濟津府尹旅順商木一葉等後別府田中萩谷二氏釜山內山守太郎等諸氏より民長成は祝賀會幹部にあて叮重なる祝電ありたりと

●中村課長の歸任期　南鮮地方張中なる中村農務課長は十五日歸任すべしと云ふ

●朝鮮鑛產地の編纂　農商工部鑛務課にては今回朝鮮鑛產地と題する小冊子を編纂したるが昨今各方面に夫々配本中也

●中學校寄宿舍の新築　總督府中學校にては今回生徒寄宿舍を新築する筈にて敷地は慶熙宮の學校敷地內に決定し近々起工の筈也

◎座礁汽船の浮揚　本月一日全南汝目濟に於て座礁したる汽船吉祥丸は去十一日浮揚り翌日十二日麗水に入港

●民團火葬場竣成　高陽里に新築中の京城民團立火葬場は豫定の如く去十日竣成を告げたるなり一兩日試驗を行ひ來七月一日より使用を許可する筈なり尙ほ在來の東大門外の火葬場は新火葬場と同じく併用する事となれり

公人私人

▲近藤虎五郎（內務技師工學博士）十三日入京巴城館へ
▲渡邊公緯（國民新聞理事）浦尾旅館へ
▲田中隆三（大商船會社取締役）天眞樓
▲中根虎四郎（甲武鐵道監査役）同上へ
▲大池忠助（釜山民團議長）十三日馬山通行

▲仁川港の出入船舶▼

△群山丸　十五日大阪より入港
△蒼龍丸　同　芝罘へ向出港
△第二元山丸　同　鎭南浦へ向出港
△秀吉丸　同　大阪へ向出港
△基隆丸　同　安東縣へ向出港

▲京城手形交換高▼

六月十四日　金高　八六、七七〇、三二〇　枚數　四七七

內地巡禮日記（夫）

水浪生

前號に記せし如く北海道の井上某なる者まで世に現れた敬神家である、併し余が神職某に就いて聞き得しところに因れば井上某の外にも世に現れぬ篤志敬神家が澤山ある、思ふに斯は非常に喜ぶべきことであつて、また斯く無くてはならぬ事だ。熟ら〳〵我二千五百年史を按讀するに朝廷政事と親らし玉ふた時より委任政治の時の方が長い、茲に申すも畏れ多い事だが、時代に於ては武門政治の時代、乃ち武門政治の盛時の人をして天日地に墜ちたの數奇を發せしめた事もあつた、併し茲に深く考へ亦た誇りとすべきことは如何に武門の跋扈せし時代と雖も我大和民族が國祖天照太神の御靈に向かつて常に崇敬の念を薄らせざりし事だ、見よ彼の北條時代德川時代に於けるが如き、天日聊か蝕せるの觀ありしも國民一般の伊勢參宮は決して激はること無かつた。余窃かに我太廟に似たるものありやを海外に求むるも、ユダヤの神殿か非ず、パレスタインに於けるキリストの墓墓か、非ず、止むを得ずんばソレホメット關係のメッカ神殿なるか。然れども思へメッカ神殿は宗教上信仰の中心なりしなれ、國民的祖先崇拜の中心には非ず、故にメッカを以て我伊勢の太廟に比す、決して倫を得たるものに非ず、果して然らば我太廟は世界に比類なき唯一の靈廟であるのだ。而して帝國國民は自ら其至大なる靈廟を有する多幸なるを自覺し、感謝すべきである。何事ぞ明治の初年に於て一部の敬神家等は神宮崇敬の念に富める餘り神宮敎を組織し、同時に神宮敎會を經て敎正教導職等として神宮教の宣布に勉めしめた、其說く所やゝもすれば宗教に類せるの感なきにしも非ず、而も知らず知らずの間に國祖天照大神を一宗の開山の如く、人をして神宮を一種の宗教團體の如く誤解せしむるに到つた。されば之を信教自由の保障せられたる後ちに於ては一部國民中神宮教に反對の餘り、知らず知らず伊勢參宮を怠るものも出來た、斯は由々敷大事、捨置き難しと氣附たのが、時の內務大臣西鄕從道侯で、彼れは神宮教會の長老に向かつて旨を諭すに迫んだ、神宮教會亦人に乏しからず、良く當局の意志を察し明治三十二年を以て神宮教及び同教會を解散し、別に神宮奉齋會を組織し、單に神宮崇敬の團體として宗教以外に立つ者なることを宣明した。今や神道の諸宗派各教會を作つて夫々布教に勉む、而かも伊勢の大廟には何等關係なし、大廟は宗教以外に立てる國祖崇拜の中心なり、佛、耶、儒、神の諸信徒悉く行いて拜すべし、是れ日本國民たるの特權なり

▲茶袋▼

柴田總督府參事官が各役所を巡視するといふので何れの局課も上へ下への大混雜を極めて居る▲處が同じ大官の巡視でも、非常に五月蠅いのと五月蠅くないのとがあつて、五月蠅いのに會ふと爲めに冷汗淋漓たる思があるさうだ▲然らば柴田は何の部類に屬するかと左る高等官に感想を叩いたら、ナニ彼れは烟のやうなものさ、忽ち現はれて忽ち消えて仕舞へば跡は空々漠々たりだからね▲論功行賞が何うもれ待遠ふさまと言つた如くに漸く發表されたが先づ大體に於て批難はないが大久保大將の男爵据りは一寸非道過ぎる、省て北清事件の山口素臣さへも多額の馬蹄銀と共に伯爵を分捕つたのに▲併し其他の連中になると餘果の脊脱べ見るやうに、吾れこうは〳〵ばと我田引水の事を矯しがつて居た爲め峯山崩れて鼠一匹だなんて嘲ひて居るものがある▲日韓瓦斯が電車區域を縮少して一區三錢に改定したのを如何にも低減した如く廣告して居るのは自他を欺く脇手段だ▲夫れで景品付乘車券と發賣し、勉强の體裁を擬はんとなど寧ろ滑稽である。

▽一日一訓△

神は勞働によつて衣食する人を愛する（亞刺比亞諺訓）

●總督府增築工事　總督府の增築工事は［illegible］

●仁川米豆取引所　［illegible］

●大阪期米電報　［illegible］

●相場電報　［illegible］

▲京龍兩驛の貨客▼（十三日分）　［illegible］

…路工事は目下盛に工程を急ぎつゝあるが農商工部の移轉すべき當の建物は三日以前に竣工したるも度支部等の移るべき分は未だ工事中になるが來る八月…頃は多分九月中旬なるべしと云ふ

●仁川米豆取引所

●十四日前場▲六月出來不申▲七月物十一圓二十錢▲止十一圓二十錢▲八月物十一圓六十錢▲最十一圓五十錢▲止十一圓五十三錢

●十三日後場▲六月物十七圓三錢▲止十六圓九十八錢▲七月物十七圓二十九錢▲止十七圓二十一錢▲八月物十七圓三十錢▲止十七圓二十六錢

●十四日前場▲六月物十六圓八十八錢▲止十六圓九十錢▲七月物十七圓十九錢▲止十七圓二十六錢▲八月物十七圓二十一錢▲止十七圓三十錢

		（十二日後場）	（十三日前場）
▲神戸電鐵	寄付 引	三〇、九〇 出來不申	出來不申
▲京坂電鐵	寄付 引	六〇、〇〇 五九、九〇	六〇、三〇 六〇、〇〇
▲鐘淵紡績	寄付 引	九九、九〇 九九、八〇	一〇〇、二〇 一〇〇、一〇
▲東京株式新株	寄付 引	八八、三〇 八五、四〇	八八、三〇 八七、四〇
▲大阪株式新株	寄付 引	一一三、七〇 一一三、一〇	一一四、六〇 一一四、〇〇
▲關西直取引	寄付 引	一一四、一〇 一一三、八〇	一一四、九〇 一一四、四〇

▲南大門驛乘降客（十三日分） 乘車客 八大六 降車客 八六六
▲南大門驛貨物高（十三日分） 發送 五六噸 到着 四一三噸 貨物賃金 五〇六、四九八
▲龍山驛乘降客（十三日分）客

群山俄道中記

チ便

六月四日 山雲水神生

訂正（前號ト便日附けの六月三日は四日の誤り八行目の經緯を加へて書き後を強ふるの善後は苦役の誤り）

嬉は進逆れ併は情け同行四人の車中は無聊を感せず、したゝか疲れたる體門も流石に疲れやしたりけむ、ウーツと計り背伸び一番入齣ども憚らず續け様の大欠伸。

「アー腹が減つた、懲は言はんがこゝらで一本、畑と云ひ冷さ言ふが如きは抑も末ぢや」どこまで罪の無い男やら、意地の惡い其口髭に似合ず優さしい山田校長は、事新しくもせぬと言つた顏に極めて入念に煙草を燻らしながら

「私がこちらへ參りましてからイの、ザツと足掛け五年の間四年になりますが、參りました當時に比べてどふもこゝらの山が一体に青くなつて來た様に思はれますイの、或は自分の眼が慣れた爲め最初の様に山の禿げが著しく感じないのかも知れないがどうも思ひましたがの、其後一定の標準を置いて注意して見て居ますがの、矢張りどふも事實に於て多くの山が段々青くなつて來る様ですイの、」と左方無名の一小山を指ざしながら。

「現にあの山の中央の禿げでも以前はまだズツとひどかつた様に記憶をして居りますがの、予ー野田さん、あなたも私よりズツと早く來て居なさる御方ぢやがろんな感じは致されませんかいの」

連帶保證をと云ひたげなり、踏厚の野田氏は考一考、氣息靜かに心を沈め、其眼閉ぢんとしては閉ぢず開かんと欲して開かざる末了の一事、初めて背綮に當るもの有るが如く

「ろふです確かに年々青くなつて來ます」

只一語、簡にして借あり。

「だから朝鮮の山は殖林などゝ積極的の空騷ぎより、亂伐盜伐を防ぐ消極的殖林法が第一の急務ぢや、見給へ切りさへ仕なければ直ぐ生へて來る、大抵の山は皆こふでしよう、處で現在山林の監視なぞはどふでせう、仲々れ上も御多忙だからツクヽヽは手が廻るまい、自体朝鮮人は切るだけぢやない、其根まで掘つて取る、切り取りでない掘取り泥棒だからな」龍門の說奇とす可らず、蓋し一面の眞消息

「イヤ段々土地に慣れて來ると面白い事もあるものです、人は能く朝鮮の百姓が田畑を作るに肥料を使はぬ使う事を知らぬと云ひますが、あれは多く誤りで、如何に朝鮮人が幼稚蒙昧でも、肥料を使へば使はぬより能く出來る位の事は知つて居ます、併し御承知通り朝鮮の田には灌漑水利の便が無い、唯一に天水のみに期待する結果として切角肥料をやつても、雨が降らねば肥料に入れた現金が丸損となる、それより手間だけの損が結局得ぢやとこふ云ふ次第から肥料を使はぬので、是で水利灌漑の便さへ開けりや自分から進んで使う氣になります」

●土地調査に暴行

仁川府西面五里七里六戶孔春善（三八）は十二日午前十一時頃臨時土地調査局書記徐相吉及土地調査の立會人同所の李容和、李泰氷等にて土地調査に從事し居たるに突然出來り此の土地は我が所有なりと主張し土地所有申告書を作製し捺印せよと迫りしが右の立會人は該土地に就ては四年程前に孔春津より韓召吏の夫に賣却したるものなればとて捺印を拒絶したる處孔は烈火の如く怒り前記三名に暴行を加へ調査の進捗に妨害をなしたるより昨日其筋へ告發せらる

●二人聟の鼻毛

市中に於ける小料理店の營業期間も暫しにて以後當分京城にては娼賣する途も無ければと人の噂も七十五日と云へば其の筋の取締りも其間には少々は緩むこともなるべし爾したら又其時に思案あり夫れ迄の食ひ繫ぎに米櫃の樂なうなのに面々相當なのに持ち込んで納まつてるもあり納まらぬもある內に南大門外青坡町佐野屋の酌婦山本まさ（二八）と云ふは生れ故鄉の岡山は十五の夏に飛び出し廣島に轉込んで二十歲まで此所に修業を積み滿州に渡りて七年間日清人相手に泣いたり笑つたりして昨年春京城に來り旭町一丁目の松葉、入船、十五間道路の一進樓、青坡町鳴戶樓等を荒れ回つても居堪らず該政府の田舍に住替へし一ヶ月と經かず舞ひ戾つて青坡町の佐野屋に落ち着き稍々眞面目に働く様になりしが此のまさには妙な僻あり男さへ見れば夫婦約束を持ち掛けるので僅かの間佐野屋に居る內龍山白濱町の木挽平野仁五郎、旭町一丁目大工小田原某、龍山漢江通り四丁目坂口某なる指物屋と何れも夫婦約束をなし平野には六月十一日坂口には六月十二日何れも廢業して押し寬け女房に行きますから其の時厭だと云つたら承知しないよとグリヽヽを極められた兩人は隣近所も友達にもこれを吹聽し當日は朝から仕事を休んでスツカリ家の掃除も終り湯に入つて髮を摘み夕方からは誰れ彼れと共に花嫁の御入來をサア待つて暮せど影も形も見へぬ屁の如く、此樣子は無かつたがと首を捻つて稍ふるに迎ひの者を遣らぬが故なるべしと花婿殿を眞先に佐野屋に乘り込んで見るどれ氣の毒さまれまさんはモウ九月に廢業して小田原さん處へ嫁に參りましたの、小田原さんのお宅……夫れはドウも判りませんねわ、エツと開いた口は蝙蝠のウンコがポタリ

●安明根等の公判

既報梁起鐸外十七人は來る二十八日京城地方裁判所刑事部大法廷に於て塚原裁判長の係りにて兩角檢事立會公判開廷ある可く安明根外十七人は二十七日伊藤檢事立會公判開廷ある可く決定せり

●山道氏の公判期

雜誌新半島主幹山道襄一被告事件起訴せられし事は既報の如くなるが愈々來る十六日京城地方裁判所刑事部法廷に於て塚原裁判長の係りにて境檢事立會公判開廷せらる可しと

●恐ろしくて出來心

兵庫縣津名郡尾崎村百八十七番地當時南大門通り三丁目三十四番戶藤村支店主任硝子商棟近一二（四〇）は五月二三日の頃蓬萊町一丁目運漕業大塚力藏が本町五丁目雜貨商岡野榮方へ送付す可き錢入箱一個を誤て棟近方へ配達す可き荷物と共に配達せしを奇貨として受取り後ち大塚運漕店は誤配達に氣付き現品返戾を請求したるに錢入箱の送付を受けし事なしと稱し現價五十九圓七十五錢の物品を橫取したる事發覺し南部署に於て取調の上身柄は放還一件記錄は檢事局に送らる

●魚屋盜賊と早替

兵庫縣人當時南大門通り一丁目牛魚行商人畑喜藏（三五）は豫て得意先きなる蓬萊町四丁目郵便局事務員中村久三郎方の不在に乘じ仙臺平袴外十八點（代價百五十餘圓）を十二日午後八時頃竊取し同夜西大門分署刑事に逮れ取調の上檢事局に送らる

●小便して撲らる

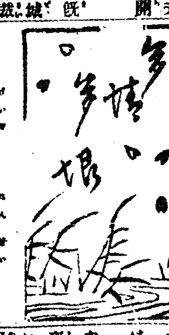
山口縣人當時北米倉町二番戶大工職藤野寅四郎（三一）は西部敦慶坊與化門橫街公設便所改築に從事中鮮人韓某後達景（三〇）が其の中に立ち入り放尿せんとするを認め制止せしに聞かざるより憤慨して棍棒を以て毆打し負傷せしめしより目下西大門分署にて取調中

●騎兵曹長の處刑

既報長崎縣人元騎兵曹長大竹直茂（三九）が朝鮮駐箚軍に在役中參謀部機密書類を種子に鮮人を詐欺したる事件は京城地方裁判所に於て懲役一箇年に處せらる

●盜難 仁川府內面內洞十統七戶鄭才順は十二日午後八時頃賊忍び入り衣類七點價格十六圓四十四錢を竊取さる

●惠與金 仁川花町二丁目三橋幸太郎氏は十四日慈惠なる河野單の一家へ金三圓惠與さる



京城藝妓の半生（卅四）

清華亭の一駒（三）

天二物を與へずとか、間もなく明治町の金さんと出來たので源さんとは切れて終つたところ此の金さんなる人が藝妓の客として他には何にも申分はないのだが何うも其の要求が多い一駒としては之れに應ずること甚だ困難を感ずる從つて「好い方だけども」と思ふと厭になる、厭だから厭だと云へば譯も理窟もあつたものではないが夫れでは即ち稼業にならない、況んや金さんは「其一つ」が惡いだけで他に惡いことの無いのみか、其の無心の利くことは無類である、デあるからして「オヽ五月蠅い」と思ふ時も事も眼を閉つて仰せのまゝに大切に取扱つては居るもの〻決して「好きな方」ではないのだ、炯眼なる金さん決して之れを知らぬ譯はない風うに斯くと洞視しては居るのだが元來藝妓を買ふ目的が好かれようの何うのと云ふのでないから一向平氣で居た、然るに近來に至り金さん其の理想通りの女を見付けた、女、セイは五尺、名は芳千代、名をれとしと申し侍る高等女侍の逸物、多々益々辨ずる剛の女、此れあつて以來一駒の方へは軸の選切り、斯くと知つた一駒は仁川以來満更知らぬ間柄でもない、默つては居られないが自分が金さんの眼を忍んで通運と知らぬ間柄でもない、さしきさんに惡戯はされにはまれのと通運の駒さんを嬉しがらせて居ることは棚に上げて密かに復讐の計畫に思いを凝らして居る鬼角人間は虫の宜いものに出來上つてると見へる、終に臨んで鶴田君が一駒と共に演じた憐れの一幕を紹介すると斯うである書記官鶴岡は年も若い氣も若い、ア、云つた型の人間に通有の鷸し易い、昨年の春農商工部を辭し歐米諸國漫遊の途に上ると傳へられると例の當地一流の送別會が催される、健康を祝しつ祝されつした幾日かの後先輩知己朋友及び知人の何百人かに見送られて南大門驛を出發した。話は變つて矢張り馬賊鶴岡を見送つた一人本町通りの商人連が其の夜清華亭に小宴を開いた、便所に立つた誰れやらが「今朝發つた鶴岡さんが居るせ」と囁いた「エ」「エ」と代り合つて其の座敷を覗いて居る、擬ふ方なき鶴岡君が一駒の膝を枕に世界の大勢なるものより說き起して東洋の將來に及び滿州經營の方針より滿韓の唇齒輔車の關係にあることまで其の蘊蓄せる所を火入れして居る、面喰つた一人前後の考もなく其所の障子を引き明けて「ヤア」と飛び込む、嘸面喰うだらうと思はれた鶴岡、馬賊の本性を發揮し起き上らうともせず「急いで出發たものだから忘れたもの〻多い中にも此奴と名殘りを惜むのを忘れて居たを大邱で思ひ出してワツハヽヽヽ」次は

清水席 笑太郎

●バコダ公園演奏目次 十五日午後四時半よりパコダ公園に於て演奏する朝鮮軍樂隊の目次は左の如し 一、進行曲双鷲 二、序曲「エレミツテ」之鐘 三、歌曲海の上 四、詩曲バロマ 五、カドリル樊シヤ「ヘレチ」 六、錦曲「カクリオスドロ」 七、リオンの目覺 八、トルカウエルの進行曲

▲仁川遊廓▼ 久しく不景氣のために沈石の遊治郎も辛棒氣に成て、居たと見ゑて仁川遊廓も二月以來丸で火の消えた樣な有樣で樓主も娼妓も青息吐息の體で有たが愈々線路が成立したと聞くより氣早な者が空想に驅られて景氣挽回の前祝ひに先月頃からボツヽヽ足を廓の方面に向ける者が多く成た樣子なるが殊に十一日の祝賀會當日より引續き十三日まで三日間は非常なる賑ひで各樓とも二月以來の大繁昌で十一日には百〇七人で三百九十五圓八十九錢十二日は八十二人で三百八十五圓四十六錢十三日は七十人で二百八十圓四十四錢の水揚げが有た



▲內地の裁判所公判廷には新聞記者席があるが當地のには夫れがないね（傍聽人）▲第一種藝妓に檢黴の必要を認めて當局者は發表す可く協議中との評判を聞いて花月翔翠等の藝妓は止めて貰ふ樣運動する夫れで駄目なら帝國議會へ提出するなんて騷いでる（又聞生）▲或る種の人が或る意味に於て恥をかゝせられたと云ふので新聞や學校やに其の生徒の覺えのない事を投書仲傷するのは不埒だ（探訪）▲祭の袴さへ穿いて居れば高等女學生と云ふが高女の山形印は縱、技藝學校のは橫だ相だ（小僧）▲毎晚參りました淺草のり怨すしと觸れて來たから誠に一本買うて喰べたら砂がジヤリヽヽ齒のない人の食物だツた是れで京城の賣れるのかしらん

●貸倉庫 京城郵便局前入御望みの方は 田中屋履物店へ 京城郵便局前（電話一〇八六番）

小僧さんに申す（愛讀者）▲此れに懲りて意地汚なをなさんナ京城で賣れるか何うかは私に能く判りませんが今晩も明晩も又明晩も參りましたら京城には砂を食ふ人間も居るのだと認めて下さい（小僧）▲僕が日韓書房へ行つて何々と云ふ本は有りますかと問うたら「此頃はソンナ物は賣りません」と答へた（不愉快生）▲當地にて劍道、柔道及び獨逸語を教へて下さる所はありませんか（駆東武士）▲京城內にて薩摩琵琶を御教授して下さる所はありませんかれ何ひ致します（明調生）▲元宮內府

●演藝だより

▲壽座の大修築 既報の如く當地興行組合代表者櫻井丈太郎は目下釜山釜山座に於て興行中の〆坂一等俳優片岡松之助一座十六日同地打揚げ次第一行八十餘名と共に當地に乘込み十八日町廻り十九日初日開演の都合なりと座頭松之助は三府俳優見立鑑に依り西前頭二枚目所にして忠臣藏と得意の演し物とし大石良雄、淺野內匠、小山田喜內、菅野三平の四役を勤むと一連悉く大坂劇界若手の花を蒐めたり興行法も道具方を二十有餘名に增員し前藩へ改良第一次の興行なれば座方に在りても其他の設備方を夜に日を繼いで急ぎ居れりと

▲歌舞伎座 立志團一行の替狂言は「牛還」全十場幕なし役割左の如し 勝次郎（北村）初公（大山）香川（阿部）深尾（志村）篠崎（村山）玉置（郡）藤五郎（稻葉）永田（寶井）友鶴（淺井）雪枝（霧島）